



PLC 機能内蔵ポジションコントローラ

MCON-LC/LCG ファーストステップガイド 第1版

このたびは、当社の製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
安全のために、本ファーストステップガイドのほか、安全ガイドおよび取扱説明書に従って、正しく使用してください。このファーストステップガイドは、本製品専用にかかれたリジルの説明書です。

警告： 本製品の取扱いは、取扱説明書を熟読の上、取扱説明書に従って行ってください。
取扱説明書は、当社のホームページからダウンロードしてください。
無償でダウンロードできます。初めての方はユーザー登録が必要となります。
URL: www.iai-robot.co.jp/data_d1/CAD_MANUAL/
取扱説明書は、本製品を設置した機器の近くに印刷して、いつでも確認できるようにするか、パソコンやタブレット端末などに表示して、すぐに確認できるようにしてください。
取扱説明書の製本が必要な場合、ファーストステップガイドまたは取扱説明書巻末に記載されている最寄りの営業所に注文してください。有償で提供いたします。

- この取扱説明書の全部または一部を無断で使用・複製することはできません。
- 本文中における会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

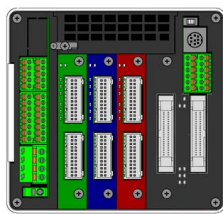
MCON-LC/LCG の設置および運転操作は、本ガイドと MCON-C/CG の取扱説明書を参照しながら、各ステップを実施してください。

本製品を初めて使用される場合は、以下の手順を参考に確認漏れや配線ミスがないよう注意しながら作業を行ってください。

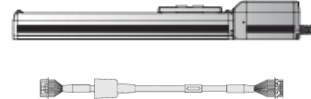
Step1 必要な物がそろっているか確認する (不足がある場合、当社または販売店まで連絡してください)

詳細は、本書の“製品の確認”の項を参照してください。

★MCON-LC/LCG



★アチュエータおよび接続ケーブル (ケーブルはアチュエータ種類により異なります [Step3 参照])



★CD-ROM (RCM-101-□□に付属) (次のソフトウェアが含まれています)

- ①RC用パソコン対応ソフト
- ②ゲートウェイラマータ設定ツール

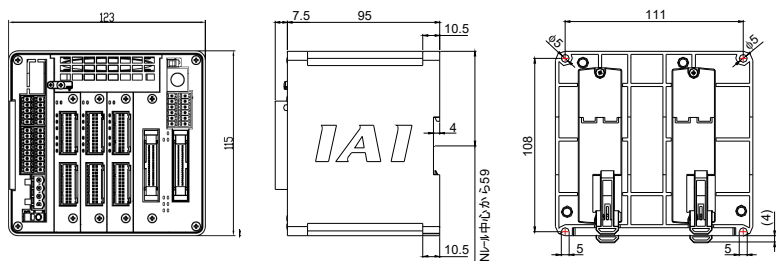


★ラマータ編集プログラム (LC-LDS-01) 当社ホームページ (www.iai-robot.co.jp/) からダウンロードしてください。

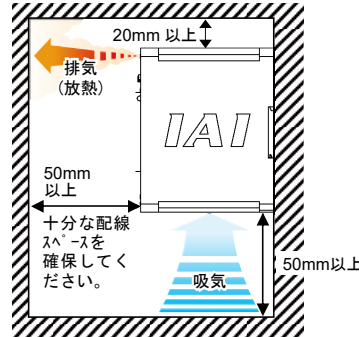
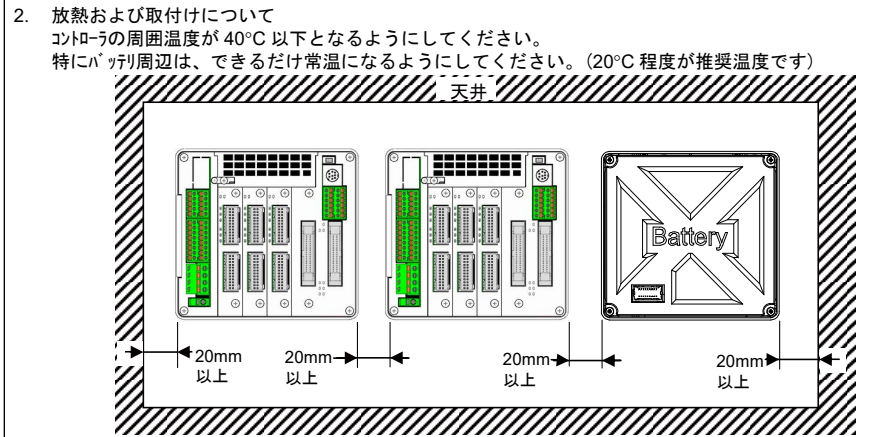
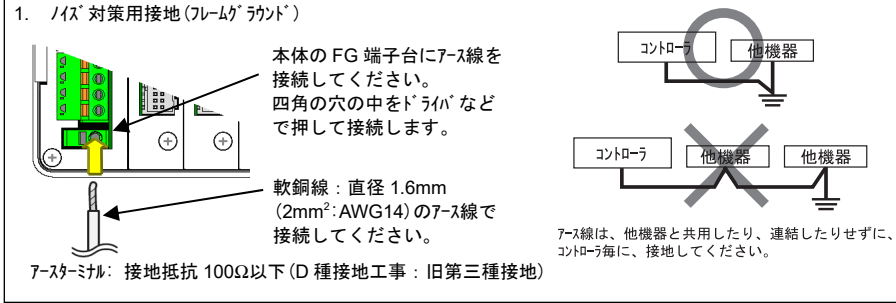
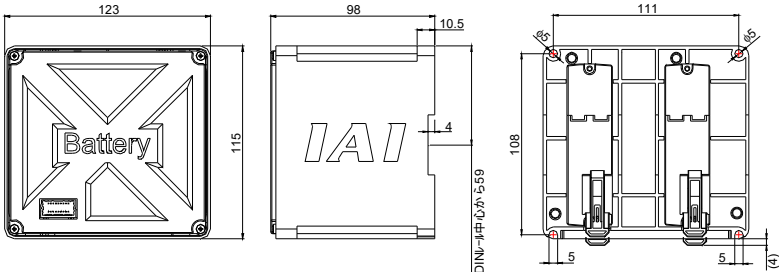
Step2 設置する 本書の“設置環境”“設置およびノイズ対策”、または MCON 取扱説明書の“1.7 設置および保管環境”“1.8 ノイズ対策と取付方法”を参照

外形寸法

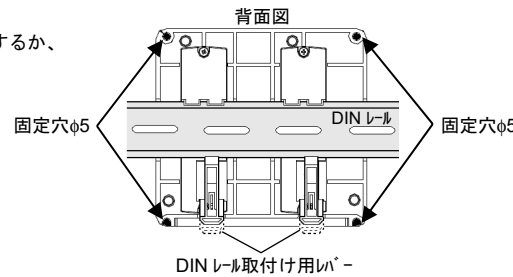
コントローラ本体



77ソケットボックス: MSEP-ABU (オプション)

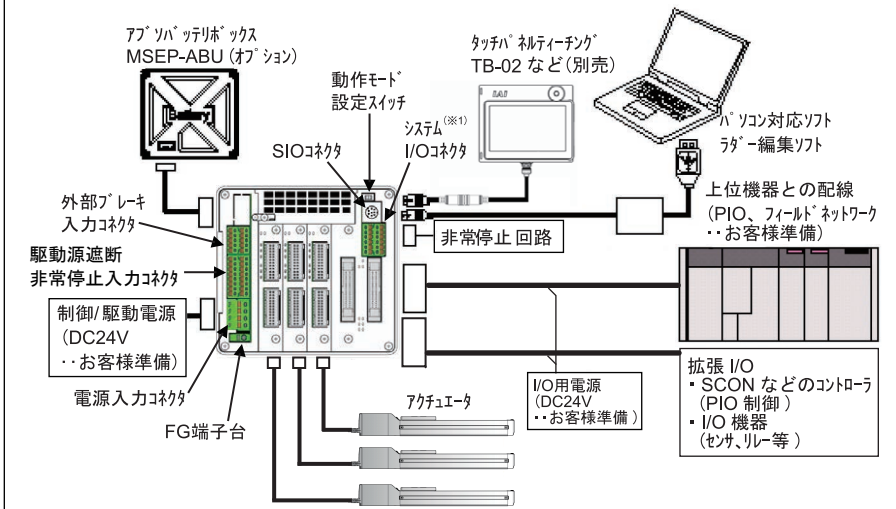


取付けは、本体 4 隅の固定穴を使用するか、DIN レールに固定してください。(77ソケットボックスも同じです)



Step3 配線する 以下の内容、または MCON 取扱説明書の第 2 章“配線”を参照

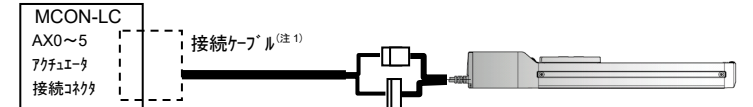
基本配線例



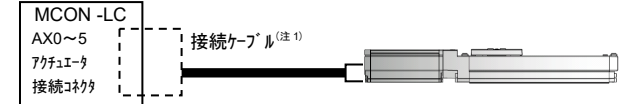
※1 本書のシステム I/O コネクタを参照してください。

77アチュエータの接続 ・ ・ 型式記入カードに記載された内容に従い、アチュエータを接続してください。

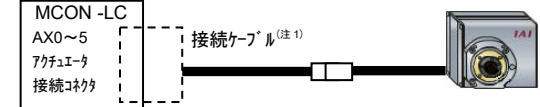
①RCP2シリーズとの接続



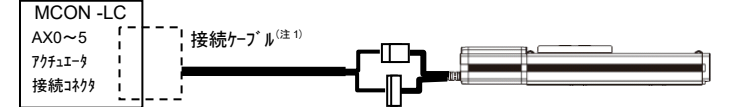
②RCP6、RCP5、RCP4、RCP3、RCA2、RCD、RCLシリーズとの接続



③RCP2 ロータリ小型タイプとの接続



④RCAシリーズとの接続



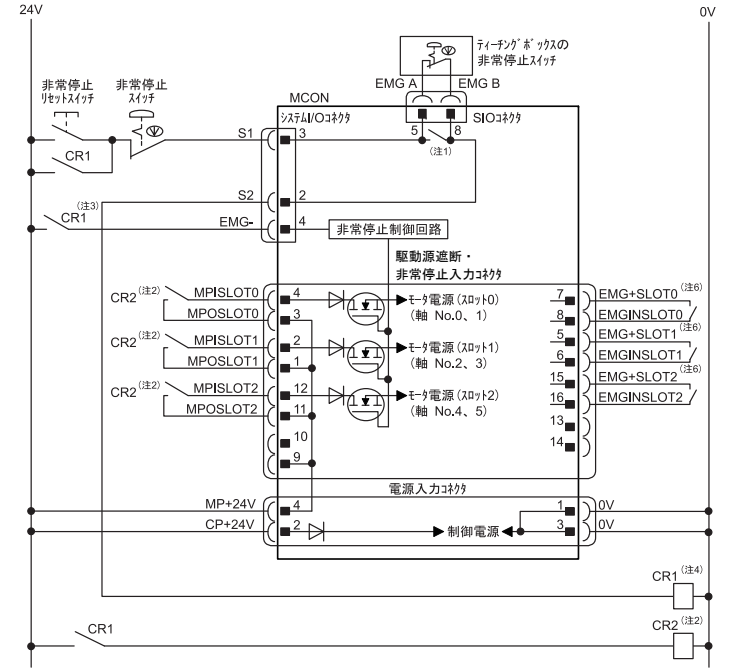
注1 接続ケーブル型式 □□□: ケーブル長 例) 030=3m

機種	ケーブル型式	備考
RCP2 ロータリ小型タイプ 以外	CB-PSEP-MPA□□□	ロケットケーブル 0.5~20m まで
RCP2 ロータリ小型タイプ (RTBS/RTCS/RTBSL/RTCSL)	CB-RPSEP-MPA□□□	ロケットケーブル 0.5~20m まで
RCA	CB-ASEP2-MPA□□□	ロケットケーブル 0.5~20m まで
RCP3、RCA2、RCL	CB-APSEP-MPA□□□	ロケットケーブル 0.5~20m まで
RCP4 (SA3/RA3 以外)	CB-CA-MPA□□□-RB	ロケットケーブル 0.5~20m (注3) まで
RCD-RA1DA (-D3) (注2)	CB-CA-MPA□□□	標準ケーブル 0.5~20m (注3) まで
RCP6、RCP5、RCP4 (SA3/RA3)、RCD-RA1DA (-D5) (注2)/GRSNA	CB-CAN-MPA□□□-RB	ロケットケーブル 0.5~20m (注3) まで
RCP2CR、RCP2W のケーブル・ロータリ	CB-CAN-MPA□□□	標準ケーブル 0.5~20m (注3) まで

注2 RCD の () 内の D3/D5 は、適応コントローラ記号を示します。

注3 RCD のケーブル最大長さは、標準ケーブル、ロケットケーブルとも 10m です。

電源非常停止回路例



注1 MCON-LC : タイピングボックスが接続されていない場合、コントローラ内部で S1 と S2 が短絡します。MCON-LCG : タイピングボックスが接続されていない場合、コントローラ内部で S1 と S2 が短絡しません。短絡させる場合は、SIO コネクタに「ミッパ」(DP-5) を接続してください。

注2 モータ駆動源を外部遮断する場合は、MPISLOT* と MPOSLOT* 端子間の配線にコネクタなどの接点を接続してください。

注3 接点 CR1 で ON/OFF する非常停止信号 (EMG-) の定格は、DC24V、10mA 以下です。

注4 DC24V を ON/OFF して電源を供給する場合、0V は接続したままとし、+24V を供給/切断 (片切り) してください。

注5 EMG+SLOT* と EMGINSLOT* の間を切断することで、切断したポート番号だけを非常停止状態にします。(※ポート番号)

I/O の配線 (PIO の入出力を使用する場合)

本書の“I/O の配線”、または MCON 取扱説明書 第 2 章“配線”を参照してください。

フィールドネットワークの配線 (フィールドネットワークを使用する場合)

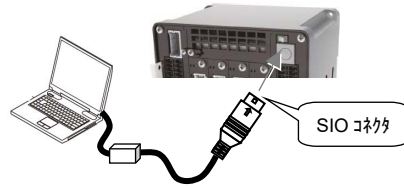
本書の各フィールドネットワークの配線の項、または MCON 取扱説明書 第 2 章“配線”を参照してください。

Step4 MCON-LC の初期設定を行う ・ (1)、(2)のいずれにも合致しない場合、step5

初期設定に必要なソフトウェア

- ①RCパソコン対応ソフト
(予め停止位置を登録する動作モード(直接数値指定モード以外)で運転する場合に必要です。)
- ②ゲートウェイパラメータ設定ツール
(拡張I/Oにフィールドネットワークを選択している場合およびカメラ機能を使用する場合に必要です。)

パソコンとMCON-LCを
パソコン対応ソフト付属の
専用ケーブルで接続します。

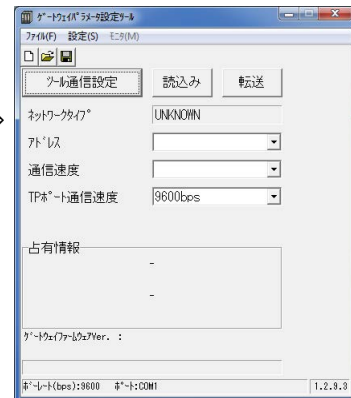


(1)フィールドネットワークの設定 (注) 拡張I/Oにフィールドネットワークを搭載した場合にのみ実施してください。

①ゲートウェイパラメータ設定ツールを起動します。

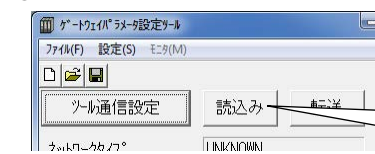


⇒ 接続ユニット番号の確認後 ⇒



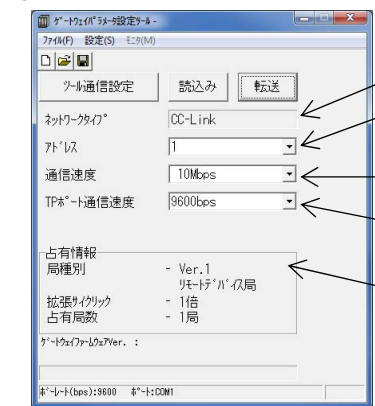
初期画面

②MCON-LCの設定値を読み込みます。



読み込みボタンを押し
設定値を読み込む

③ポートアドレス、通信速度の設定およびフィールドネットワークの占有情報を確認します。



- ・ネットワークタイプ確認
- ・ポートアドレスを設定
(設定可能な場合だけ白抜き窓となります)
- ・通信速度(設定可能な場合だけ白抜き窓となります)
- ・SIOケーブルの通信速度設定
- ・各フィールドネットワークの占有情報が表示される
(上位コントローラの設定に必要な情報は付してください)

④設定した情報をMCON-LCに書き込みます。



転送ボタンを押す
確認を求められたら「はい」を選択

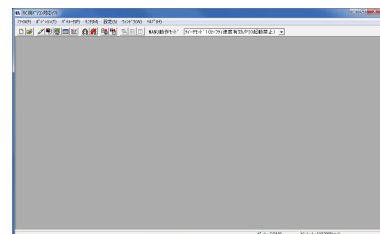
転送後、ゲートウェイパラメータ設定ツールを終了します。

(2)PIOパターンの設定

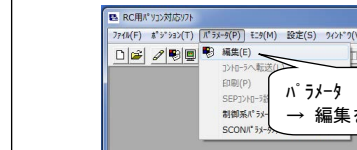
①RCパソコン対応ソフトを起動します。

接続軸番号	状態
0	接続
1	接続
2	接続
3	(確認中)
4	
5	
6	
7	

⇒ アチュエータ接続可能数分 ⇒
(無効軸設定でも接続)



②パラメータを開きます。



パラメータ
→ 編集を選択

③パラメータNo.25 PIOパターン選択に動作モードを設定します。

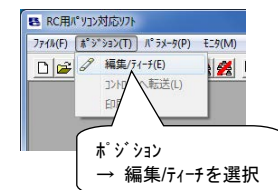


動作パターン	PIOパターン 設定値
リモートI/Oモード以外	6
リモートI/Oモード(注1)	0, 1, 2, 4, 5

注1: 後述の動作パターンを参照

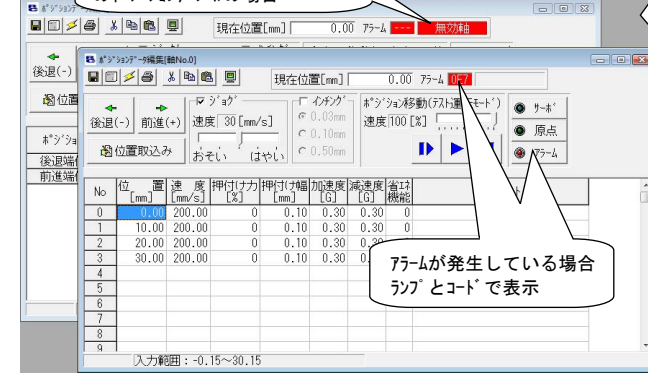
(3)目標位置の設定 (注) 直接数値指定モード以外で動作を行う場合にのみ実施してください。

①RCパソコン対応ソフトで
ポジションテーブルを開きます。



ポジション
→ 編集/テーブルを選択

無効軸設定された軸番号(No.3)
のポジションテーブルの場合



アラームが発生している場合
ランプとコードで表示

選択した軸番号のポジションテーブルが開く(本例は、No.0と3)

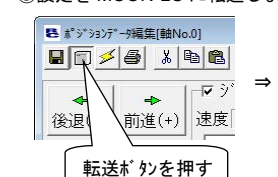
②ポジションテーブルに停止位置などを設定します。

ポジションテーブルの詳細は、MCON取扱説明書の3.3「ポジションテーブルの設定」を参照してください。

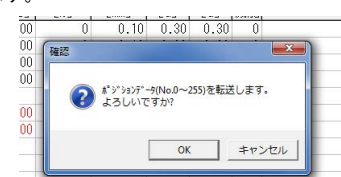


停止位置を設定すると、その列の
速度などの設定値は初期値が
自動で入力されます。
・・・コントロールに転送する前は
赤で表示されます。

③設定をMCON-LCに転送します。



転送ボタンを押す



⇒ 確認後、OKを押します。

転送後、RCパソコン対応ソフトを終了します。

Step5 ラグ編集プログラムを作成する

作成に必要なソフトウェアおよび取扱説明書

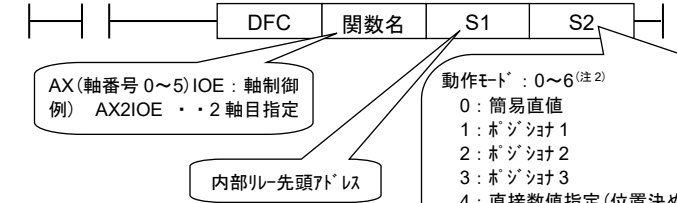
- ・ラグ編集プログラム(LC-LDS-01)
- ・MCON-LC/LCG、MSEP-LC ラグ編集ソフトウェア(MJ0330)
- ・MCON-LC/LCG、MSEP-LC プログラミングマニュアル(MJ0329)
- ・MCON 取扱説明書(MJ0341)

★上記のラグ編集ソフトウェア(MJ0330)などを参照し、ラグプログラムを作成してください。

【ポイント】

軸制御(アチュエータの動作モード指定や動作)、ポジションテーブルの読書き、フィールドバスの制御は、
専用命令「DFC」を使用します。[ラグプログラミングマニュアル(MJ0329)の専用命令の項参照]

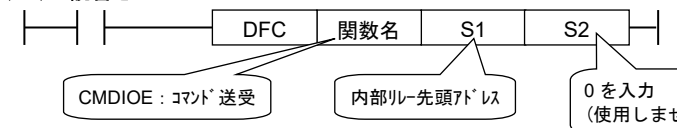
●軸制御 ・ ・ ・ [後述の動作パターンを参照]



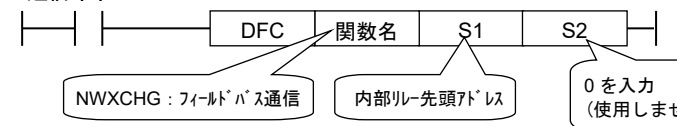
- 動作モード: 0~6(注2)
- 0: 簡易直値
 - 1: ポジション1
 - 2: ポジション2
 - 3: ポジション3
 - 4: 直接数値指定(位置決め)
 - 5: ポジション5
 - 6: リモートI/Oモード
- 各モードの信号割付は、MCON 取扱説明書 3.4 項を参照してください

注2: Step4 (2) ③で設定したPIOパターンと
食い違いの無いように注意してください。

●ポジションテーブルの読書き ・ ・ ・ [MCON 取扱説明書 3.4.11「コマンド」についてを参照]



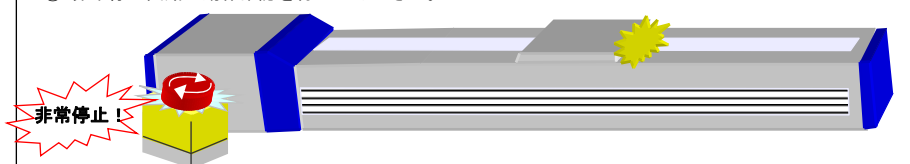
●フィールドバス通信命令



★フィールドネットワークの通信データエリアは、内部リレー先頭アドレスからCC-Linkがリモートバス局の
1局1倍、それ以外は入出力各8バイト分割当てられます。

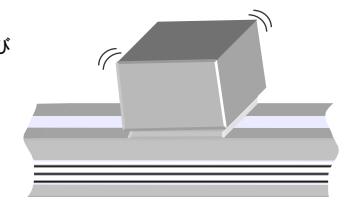
Step6 試運転

①非常停止回路の動作確認を行ってください。



②ワークを載せず、低速でラグのデバックやアチュエータ動作を確認、および周りの装置と連携を確認してください。

③ワークを載せて、希望の動作速度で確認してください。
異音が発生した場合、アチュエータの取付けの確認、および
サーボ調整を実施してください。



④MCON-LCの動作モード設定スイッチをAUTOにして、
上位の指令で運転を行ってください。



設置環境

汚染度 2※1 または同等の環境で使用することができます。

※1 汚染度 2：通常、非導電性の汚損だけが生じるが、結露による一時的な導電性汚損の可能性がある。
(IEC60664-1)

設置環境

次のような場所は避けて設置してください。

- 周囲温度が 0~40°C の範囲を超える場所
- 相対湿度が 85%RH を超える場所
- 塵埃、塩分、鉄粉が多い場所
- 日光が直接あたる場所
- 通気孔を塞ぐような場所 [設置およびノイズ対策の項参照]
- 温度変化が急激で結露するような場所
- 腐食性ガス、可燃性ガスのある場所
- 本体に直接振動や衝撃が伝わる場所
- 水、油、薬品の飛沫がかかる場所

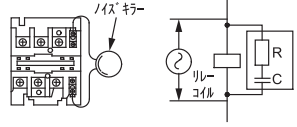
次のような場所で使用する場合は、十分に遮蔽してください。

静電気などによるノイズが発生する場所、強い電界や磁界が生じる場所、電源線や動力線が近くを通る場所

設置およびノイズ対策

1. 配線方法に関する諸注意

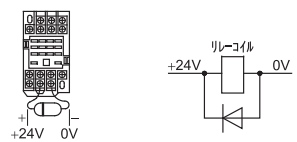
- ① DC24V 電源の配線は、ツイストしてください。
- ② 信号線やエンコーダの配線は、電源線や動力線とは分離してください。



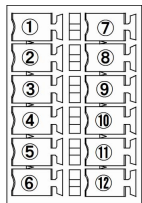
2. ノイズ発生源およびノイズ防止

同一電源路および同一装置内の電源機器には、ノイズ防止対策を行ってください。ノイズ発生源の対策例を示します。

- ① AC リレイドバブル・マグネットスイッチ・リレー
[処置] コイルと並列にノイズキラーを取付けます。
- ② DC リレイドバブル・マグネットスイッチ・リレー
[処置] コイルと平行にダイオードを取付けます。
DC リレーは、ダイオード内蔵型をご使用ください。



システム I/O コネクタ

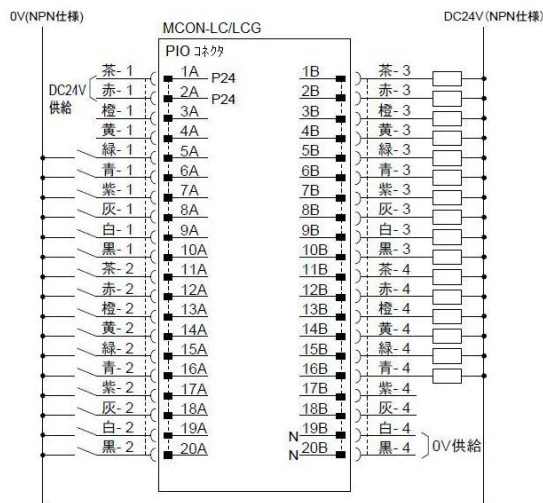


コントローラ側
コネクタ正面図

ピン No.	信号名	説明	ピン No.	信号名	説明
1	EMG+	非常停止用+24V 電源出力	7	A/M+	動作モード (AUTO/MANU) 切替え用電源
2	S2	外部非常停止信号入力用	8	A/M-	動作モード (AUTO/MANU) 切替え信号入力
3	S1	外部非常停止信号出力用	9	RB+	回生抵抗接続+
4	EMG-	非常停止入力	10	RB-	回生抵抗接続-
5	SD+	タッチパネル通信ライン+側	11	GND	タッチパネル通信 GND
6	SD-	タッチパネル通信ライン-側	12	NC	-

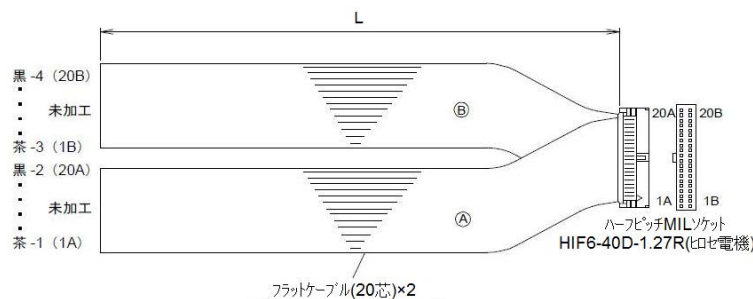
I/O の配線

信号割付の詳細は、動作パターン ●PIO パターンと信号割付を参照してください。



配線は付属のケーブルを使用してください。

型式：CB-PAC-PIO□□□□ (□□□□はケーブル長 L 例.020=2m)



DeviceNet の配線

詳細は、各フィールドネットワークマスタユニットおよび搭載される上位機器の取扱説明書で確認してください。

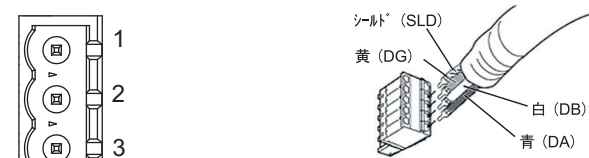


コネクタ名称	DeviceNet 接続コネクタ	
ケーブル側	MSTB2.5/5-STF-5.08AU	標準付属品 フェニックスコンタクト製
コントローラ側	MSTBA2.5/5-GF-5.08AU	

ピン番号	信号名 (配色)	内容	適合電線径
1	V- (黒)	電源ケーブル側	DeviceNet 専用ケーブル
2	CAN L (青)	通信データ Low 側	
3	シールド (無)	シールド	
4	CAN H (白)	通信データ High 側	
5	V+ (赤)	電源ケーブル側	

CC-Link の配線

詳細は、各フィールドネットワークマスタユニットおよび搭載される上位機器の取扱説明書で確認してください。

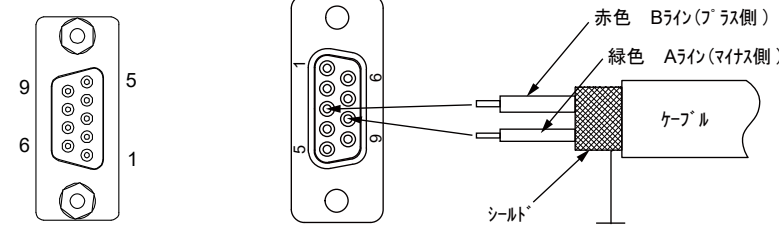


コネクタ名称	CC-Link 接続コネクタ	
ケーブル側	MSTB2.5/5-STF-5.08AU	標準付属品 フェニックスコンタクト製
コントローラ側	MSTBA2.5/5-GF-5.08AU	

ピン番号	信号名 (配色)	内容	適合電線径
1	DA (青)	通信ライン A	CC-Link 専用ケーブル
2	DB (白)	通信ライン B	
3	DG (黄)	デジタル GND	
4	SLD	シールドケーブルのシールドを接続 (5ピンとコントローラ FG と内部で接続)	
5	FG	フレームグラウンド (4ピンとコントローラ FG と内部で接続)	

PROFIBUS-DP の配線

詳細は、各フィールドネットワークマスタユニットおよび搭載される上位機器の取扱説明書で確認してください。

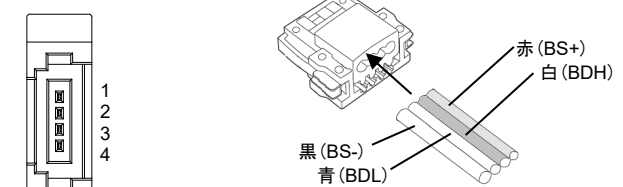


コネクタ名称	PROFIBUS-DP 接続コネクタ	
ケーブル側	9ピンDサブコネクタ (オス)	ご用意ください
コントローラ側	9ピンDサブコネクタ (メス)	

ピン番号	信号名	内容	適合電線径
1	NC	未接続	PROFIBUS-DP 専用ケーブル (タイプ A: EN5017)
2	NC	未接続	
3	B-Line	通信ライン B (RS485)	
4	RTS	送信要求	
5	GND	シールド GND (絶縁)	
6	+5V	+5V 出力 (絶縁)	
7	NC	未接続	
8	A-Line	通信ライン A (RS485)	
9	NC	未接続	

CompoNet の配線

詳細は、フィールドネットワークマスタユニットおよび搭載される上位機器の取扱説明書で確認してください。



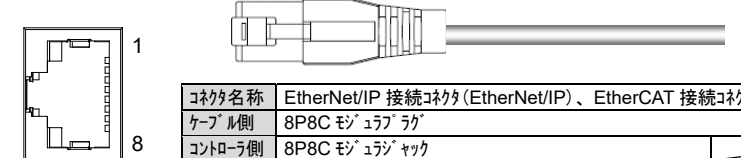
コネクタ名称	CompoNet 接続コネクタ	
ケーブル側	CompoNet 規格に適合したコネクタをご用意ください	
コントローラ側	XW7D-PB4-R	オムロン製

ピン番号	信号名 (配色)	内容	適合電線径
1	BS+ (赤)	通信電源+ (注1)	CompoNet 専用ケーブル
2	BDH (白)	信号線 H 側	
3	BDL (青)	信号線 L 側	
4	BS- (黒)	通信電源- (注1)	

注1 通信電源を供給する必要はありません。(内部電源を使用します)
BS+およびBS-端子に電源を接続しても問題ありません。

EtherNet/IP、EtherCAT の配線

詳細は、フィールドネットワークマスタユニットおよび搭載される上位機器の取扱説明書で確認してください。



EtherNet/IP、
コントローラ側
コネクタ正面図

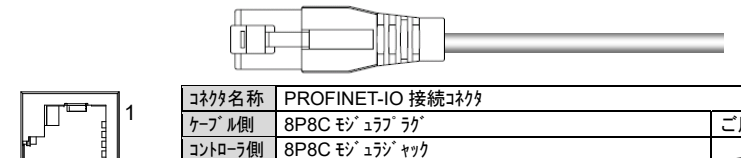
コネクタ名称	EtherNet/IP 接続コネクタ (EtherNet/IP)、EtherCAT 接続コネクタ (EtherCAT)	
ケーブル側	8P8C モジュラプラグ	
コントローラ側	8P8C モジュラジャック	

ピン番号	信号名	内容	適合電線径
1	TD+	送信データ+	Ethernet ケーブルは、 カテゴリ 5e 以上のストレート STP ケーブルを使用し てください。
2	TD-	送信データ-	
3	RD+	受信データ+	
4	-	未使用	
5	-	未使用	
6	RD-	受信データ-	
7	-	未使用	
8	-	未使用	

EtherCAT
コントローラ側
コネクタ正面図

PROFINET-IO 仕様

詳細は、フィールドバスマスタユニットおよび搭載される PLC の取扱説明書で確認してください。



コントローラ側
コネクタ正面図

コネクタ名称	PROFINET-IO 接続コネクタ	
ケーブル側	8P8C モジュラプラグ	ご用意ください
コントローラ側	8P8C モジュラジャック	

ピン番号	信号名	内容	適合電線径
1	TD+	送信データ+	Ethernet ケーブルは、 カテゴリ 5 以上のストレート STP ケーブルを使用し てください。
2	TD-	送信データ-	
3	RD+	受信データ+	
4	-	未使用	
5	-	未使用	
6	RD-	受信データ-	
7	-	未使用	
8	-	未使用	

動作パターン

本コントローラは、フィールドバスの仕様として7種類の動作モードを選択できます。最も用途に適した動作パターンをパラメータNo.25「PIOパターン選択」および「命令(DFC)」で設定してください。

DFC	動作モード	内容	概要
0	簡易直値モード	目標位置を直接数値で指定できます。また0.01mm単位で現在位置のモータが可能です。目標位置以外は、ポジションテーブルで指定し、最大256点の設定ができます。	
1	ポジション1モード	最大256点の位置データを登録し、登録位置に停止できます。また0.01mm単位で現在位置のモータが可能です。	
2	ポジション2モード	ポジションテーブルに設定した最大256点のポジションテーブルによる運転モードです。現在位置のモータはできません。本モードは、ポジション1モードから送受信のデータ量を減らしたモードです。	
3	ポジション3モード	ポジションテーブルに設定した最大256点のポジションテーブルによる運転モードです。現在位置のモータはできません。ポジション2モードからさらに送受信のデータ量を減らし、位置決めに必要な最低限の信号だけで制御するモードです。	
4	直接数値指定モード	目標位置、速度、加減速度、押付け電流制限値を数値指定できます。現在位置の他、現在速度、指令電流値もモータ可能です。	
5	ポジション5モード	ポジションテーブルに設定した最大16点のポジションテーブルによる運転モードです。ポジション2モードからポジションテーブル数を減らし、0.1mm単位での現在位置のモータを可能としたモードです。	
6	リモートI/Oモード	PIO(24V入出力)のようにビットのON/OFFで制御する運転モードです。PIOパターン0、1、2、4、5の5種類の制御が可能です。(以下のリモートI/O動作パターン参照)	

●リモートI/O動作パターン(PIOパターンは、ドライバモードパラメータNo.25で切り替えます。)

PIOパターン	動作モード	I/O仕様
0	位置決めモード	位置決め点数64点 ポジション信号出力 ^(注1) 1点
1	教示モード	位置決め点数64点 ポジション信号出力 ^(注2) 1点 ジョグ運転可能 現在位置を指定ポジションに書き込み可能
2	256点モード	位置決め点数256点 ポジション信号出力 ^(注2) 1点
3	—	使用できません。(設定するとパラメータ異常になります。)
4	電磁弁モード1	位置決め点数7点 ポジション信号出力 ^(注2) 1点 ゾン信号出力1点 ^(注1) ポジションNo.の指定だけで運転指令可能
5	電磁弁モード2	位置決め点数3点 ポジション信号出力 ^(注2) 1点 前進/後退/中間点位置指令により運転完了信号は、リミットスイッチと同等の信号出力可能

注1：ゾンの範囲はパラメータに設定します。原点復帰完了で常時有効となります。

注2：ゾンの範囲はポジションテーブルに設定。そのポジションNo.を指令したときだけ有効となります。他のポジションNo.指令では無効です。ポジション信号はパラメータNo.149の設定でゾン信号に切り替え可能です。

●PIOパターンと信号割付

PIOパターンによるI/Oフラットケーブルの信号割付は次の表のとおりです。本表に従って外部機器と接続を行ってください。内蔵フラットケーブル割付け、使用方法などは別冊MCON-LC/LCG、MSEP-LCの「フラットケーブル(MJ0329)」を参照してください。

ピン番号	PIO機能	動作パターン(PIOパターン)			
		標準I/O		拡張I/O	
		信号名	割付先ケーブル	信号名	割付先ケーブル
A1	COM	24V			
A2					
A3					
A4					
A5	汎用入力	IN0	X000	IN16	X010
A6		IN1	X001	IN17	X011
A7		IN2	X002	IN18	X012
A8		IN3	X003	IN19	X013
A9		IN4	X004	IN20	X014
A10		IN5	X005	IN21	X015
A11		IN6	X006	IN22	X016
A12		IN7	X007	IN23	X017
A13		IN8	X008	IN24	X018
A14		IN9	X009	IN25	X019
A15		IN10	X00A	IN26	X01A
A16		IN11	X00B	IN27	X01B
A17		IN12	X00C	IN28	X01C
A18		IN13	X00D	IN29	X01D
A19		IN14	X00E	IN30	X01E
A20		IN15	X00F	IN31	X01F
B1	汎用出力	OUT0	Y000	OUT16	Y010
B2		OUT1	Y001	OUT17	Y011
B3		OUT2	Y002	OUT18	Y012
B4		OUT3	Y003	OUT19	Y013
B5		OUT4	Y004	OUT20	Y014
B6		OUT5	Y005	OUT21	Y015
B7		OUT6	Y006	OUT22	Y016
B8		OUT7	Y007	OUT23	Y017
B9		OUT8	Y008	OUT24	Y018
B10		OUT9	Y009	OUT25	Y019
B11		OUT10	Y00A	OUT26	Y01A
B12		OUT11	Y00B	OUT27	Y01B
B13		OUT12	Y00C	OUT28	Y01C
B14		OUT13	Y00D	OUT29	Y01D
B15		OUT14	Y00E	OUT30	Y01E
B16		OUT15	Y00F	OUT31	Y01F
B17					
B18					
B19	COM	0V			
B20					

株式会社アイエイアイ

本社・工場	〒424-0103 静岡県静岡市清水区尾羽 577-1	TEL 054-364-5105 FAX 054-364-2589
東京営業所	〒105-0014 東京都港区芝 3-24-7 芝エクセージビルディング 4F	TEL 03-5419-1601 FAX 03-3455-5707
大阪営業所	〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島 6-2-40 中之島インテス 14F	TEL 06-6479-0331 FAX 06-6479-0236
名古屋支店		
名古屋営業所	〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄 5-28-12 名古屋若宮ビル 8F	TEL 052-269-2931 FAX 052-269-2933
小牧営業所	〒485-0029 愛知県小牧市中央 1-271 大垣共立銀行 小牧支店ビル 6F	TEL 0568-73-5209 FAX 0568-73-5219
四日市営業所	〒510-0086 三重県四日市市諏訪栄町 1-12 朝日生命四日市ビル 6F	TEL 059-356-2246 FAX 059-356-2248

豊田支店		
新豊田営業所	〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町 1-5-3 朝日生命新豊田ビル 4F	TEL 0565-36-5115 FAX 0565-36-5116
安城営業所	〒446-0058 愛知県安城市三河安城南町 1-15-8 サンテラス三河安城 4F	TEL 0566-71-1888 FAX 0566-71-1877
盛岡営業所	〒020-0062 岩手県盛岡市長田町 6-7 クリエ 21ビル 7F	TEL 019-623-9700 FAX 019-623-9701
秋田出張所	〒018-0402 秋田県にかほ市平沢字行森 2-4	TEL 0184-37-3011 FAX 0184-37-3012
仙台営業所	〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉 1-6-6 イースタンビル 7F	TEL 022-723-2031 FAX 022-723-2032
新潟営業所	〒940-0082 新潟県長岡市千歳 3-5-17 センザビル 2F	TEL 0258-31-8320 FAX 0258-31-8321
宇都宮営業所	〒321-0953 栃木県宇都宮市東宿郷 5-1-16 ルーセントビル 3F	TEL 028-614-3651 FAX 028-614-3653
熊谷営業所	〒360-0847 埼玉県熊谷市龍原南 1-312 あかりビル 5F	TEL 048-530-6555 FAX 048-530-6556
茨城営業所	〒300-1207 茨城県牛久市ひたち野東 5-3-2 ひたち野うしく池田ビル 2F	TEL 029-830-8312 FAX 029-830-8313
多摩営業所	〒190-0023 東京都立川市栄崎町 3-14-2 BOSENビル 2F	TEL 042-522-9881 FAX 042-522-9882
甲府営業所	〒400-0031 山梨県甲府市丸の内 2-12-1 ミサビル 3F	TEL 055-230-2626 FAX 055-230-2636
厚木営業所	〒243-0014 神奈川県厚木市旭町 1-10-6 シャンロック石井ビル 3F	TEL 046-226-7131 FAX 046-226-7133
長野営業所	〒390-0852 長野県松本市島立 943 ハーモネットビル 401	TEL 0263-40-3710 FAX 0263-40-3715
静岡営業所	〒424-0103 静岡県静岡市清水区尾羽 577-1	TEL 054-364-6293 FAX 054-364-2589
浜松営業所	〒430-0936 静岡県浜松市中区大工町 125 シャンソンビル浜松 7F	TEL 053-459-1780 FAX 053-458-1318
金沢営業所	〒920-0024 石川県金沢市西念 3-1-32 西清ビル A棟 2F	TEL 076-234-3116 FAX 076-234-3107
滋賀営業所	〒524-0033 滋賀県守山市浮気町 300-21 第2小島ビル 2F	TEL 077-514-2777 FAX 077-514-2778
京都営業所	〒612-8418 京都府京都市伏見区竹田向代町 559 番地	TEL 075-693-8211 FAX 075-693-8233
兵庫営業所	〒673-0898 兵庫県明石市榎屋町 8-34 第5池内ビル 8F	TEL 078-913-6333 FAX 078-913-6339
岡山営業所	〒700-0973 岡山県岡山市北区下中野 311-114 OMOTO-ROOT BLD.101	TEL 086-805-2611 FAX 086-244-6767
広島営業所	〒730-0051 広島県広島市中区大手町 3-1-9 広島鯉城通りビル 5F	TEL 082-544-1750 FAX 082-544-1751
徳島営業所	〒770-0905 徳島県徳島市東大工町 1-9-1 徳島ファーストビル 5F-B	TEL 088-624-8061 FAX 088-624-8062
松山営業所	〒790-0905 愛媛県松山市榊味 4-9-22 フォーレスト 21 1F	TEL 089-986-8562 FAX 089-986-8563
福岡営業所	〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東 3-13-21 エフビル WING 7F	TEL 092-415-4466 FAX 092-415-4467
大分営業所	〒870-0823 大分県大分市東大道 1-11-1 タンネンバウム III 2F	TEL 097-543-7745 FAX 097-543-7746
熊本営業所	〒862-0910 熊本県熊本市東区健康本町 1-1 拓洋ビル 4F	TEL 096-214-2800 FAX 096-214-2801

お問い合わせ先

アイエイアイ お客様センター エイト

(受付時間) 月～金 24時間 (月7:00AM～金翌朝7:00AM)
土、日、祝日 8:00AM～5:00PM
(年末年始を除く)

フリーダイヤル 0800-888-0088

FAX: 0800-888-0099 (通話料無料)

ホームページアドレス www.iai-robot.co.jp

管理番号: MJ0362-1D